

平成27年10月5日

答申第598号

#### 1 再検討の求めに至る経緯

視聴者より、平成25年7月に実施した「『3か年の基本方針』の達成状況を測る世論調査」について、「1 回答項目を ① 期待している、② どちらかというと期待している、③ どちらかというと期待していない、④ 期待していない、にわたる目的・理由、2 ①と②、③と④を合算して分析し公表する理由がそれぞれわかる文書」の開示の求めがあった。

NHKは、開示の求めの文書がいずれも存在しないため、開示することができないとした。

これに対して、視聴者から再検討の求めがあった。

#### 2 NHKの見解の要旨

開示の求めの文書は、いずれも存在せず開示することができない。

なお、NHKでは、「『3か年の基本方針』の達成状況を測る世論調査」において各指標の設問に対し、「期待している」と「どちらかというと期待している」と回答した人の割合を「期待度」、「実現している」と「どちらかというと実現している」と回答した人の割合を「実現度」とし、期待度と実現度の差を縮めることを目標に事業運営や業務改革を進めている。

#### 3 審議委員会の判断

開示の求めの文書はいずれも存在しないと認められ、不開示としたNHKの取り扱いは妥当である。

#### 4 審議の経過

平成27年10月5日（第225回審議委員会）

第613号諮問、審議、答申